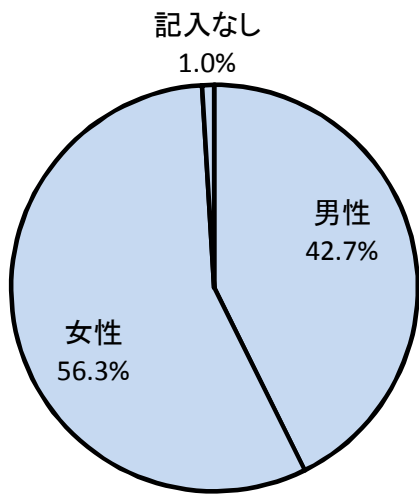


地域福祉活動に関するアンケート調査結果（高萩市社会福祉協議会実施）

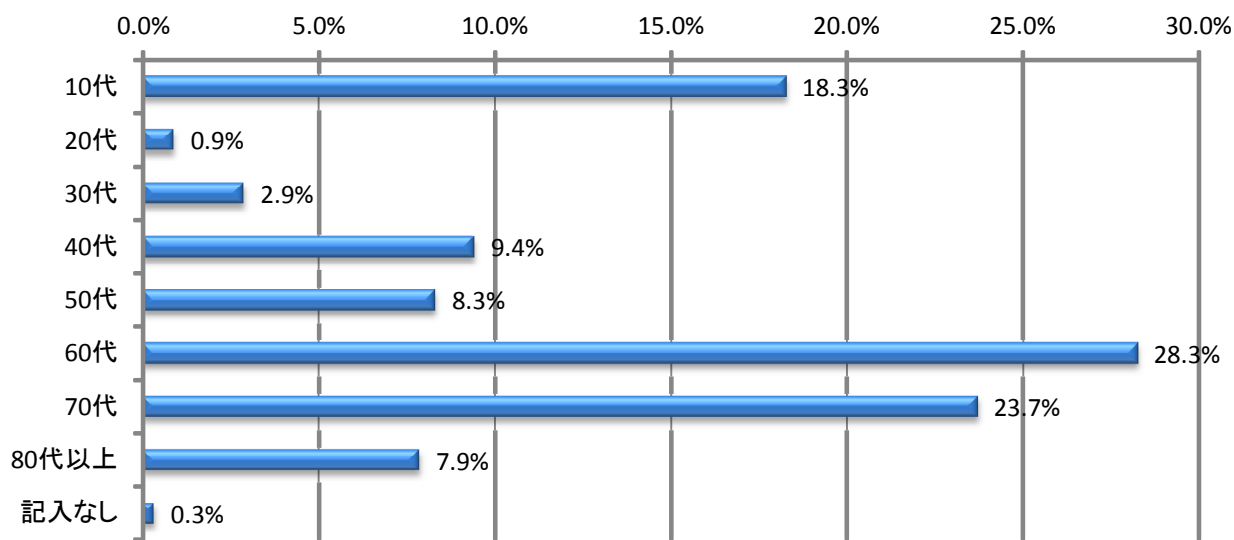
I. あなた自身について

問1 あなたの性別は



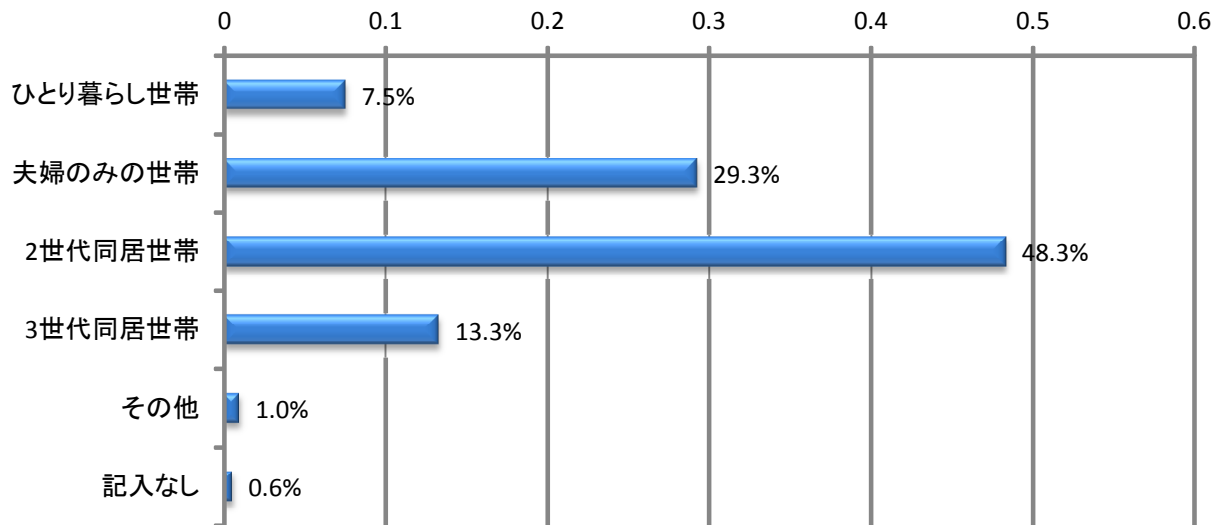
性別は、「男性」が 42.7%、「女性」が 56.3%と、女性の比率が若干高い。

問2 あなたの年代は



年齢は、「60代」が 28.3%と最も高く、「70代」（23.7%）と合わせると、60代以上が過半数を占める。一方、「20代」は 0.9%、「30代」 2.9%と、若い世代の回答は少数である。

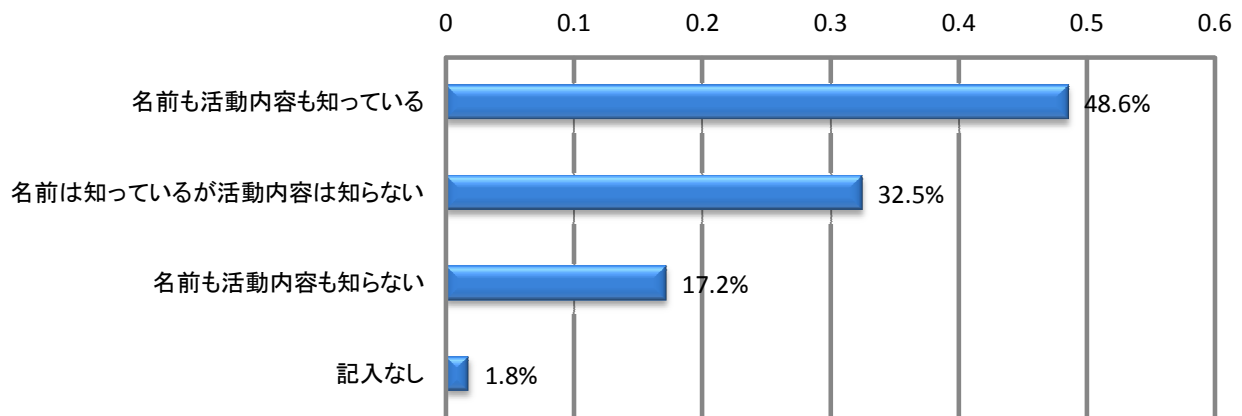
問3 あなたの家族構成は



家族構成は、「2世代同居世帯」が48.3%と最も比率が高く、以下、「夫婦のみの世帯」29.3%、「3世代同居世帯」13.3%、「ひとり暮らし」7.5%となっている。

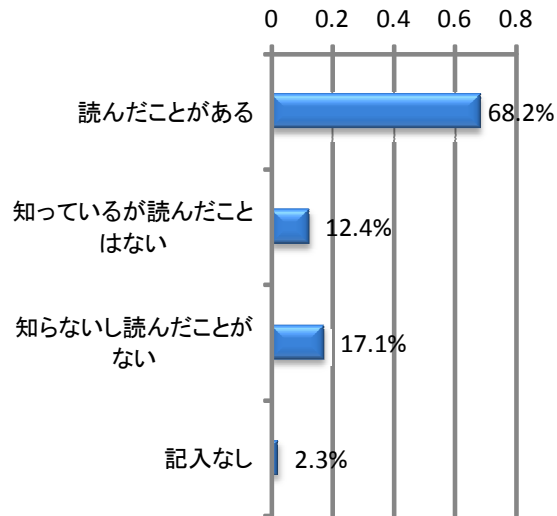
Ⅱ. 社会福祉協議会の活動について

問4 高萩市社会福祉協議会のことをどれくらい知っていますか。

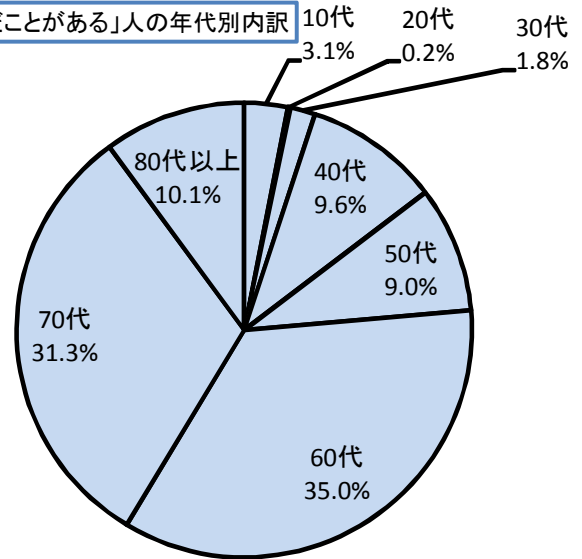


社協の活動内容について、「名前も活動内容も知っている」が48.6%と最も高く、「名前は知っているが活動内容は知らない」は32.5%、「名前も活動内容も知らない」は17.2%となっている。

問5 広報紙「福祉たかはぎ」を読んだことがありますか。



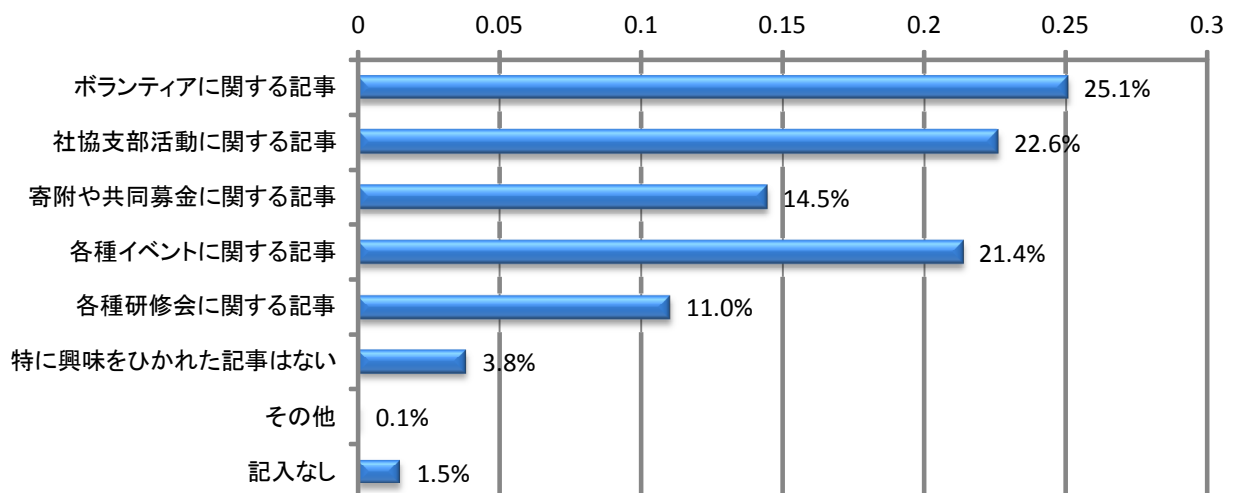
「読んだことがある」人の年代別内訳



広報紙「福祉たかはぎ」について、「読んだことがある」が68.2%と最も高く、「知っているが読んだことはない」は12.4%、「知らないし読んだことがない」は17.1%となっている。「読んだことがある」は、10代・20代の比率が低く、60代・70代の比率が高くなっている。

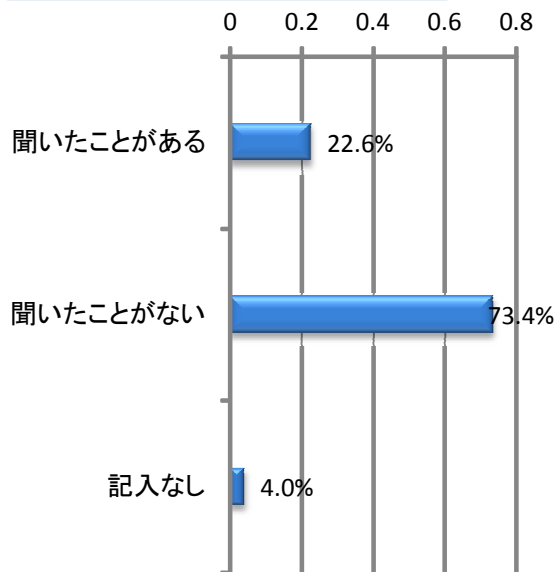
【問5で「読んだことがある」と答えた人について】

問6 どのような記事に興味をひかれましたか(複数回答)

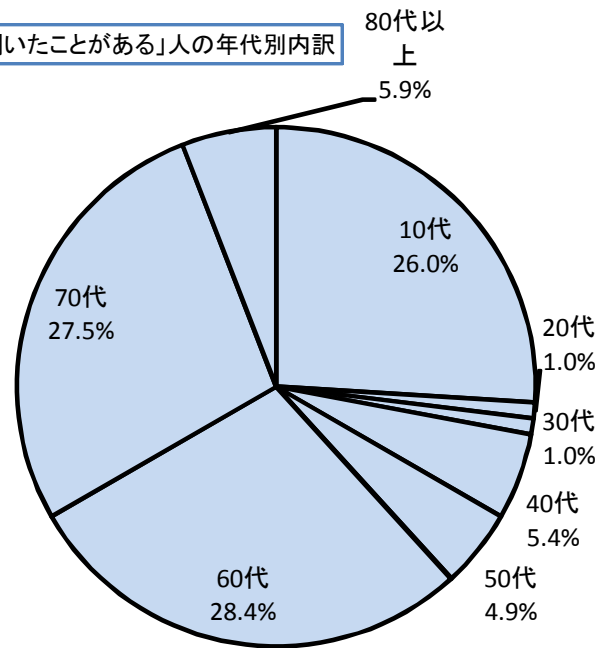


興味がひかれた記事について、「ボランティアに関する記事」が25.1%と最も高く、次いで「社協支部活動に関する記事」が22.6%、「各種イベントに関する記事」が21.4%と続く。

問7 「たかはぎFM」で社協の事業や支部活動などの放送を聞いたことがありますか。

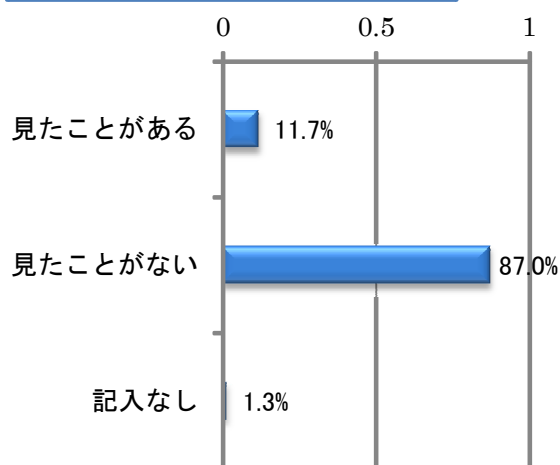


「聞いたことがある」人の年代別内訳

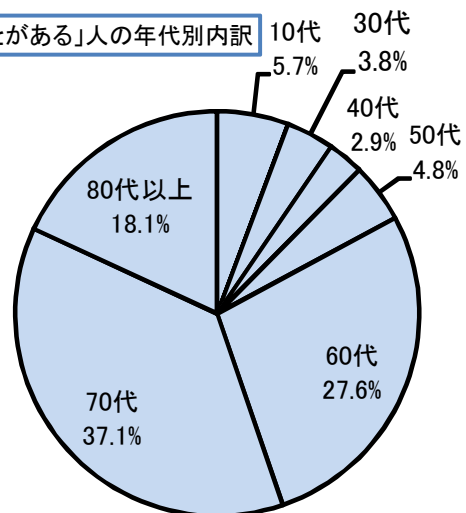


たかはぎ FM で社協の事業や支部活動などの放送について、「聞いたことがない」が73.4%であり、「聞いたことがある」の22.6%を大きく上回っている。「聞いたことがある」人の年代は「60代」28.4%、「70代」27.5%、「10代」26.0%の順になっている。

問8 高萩市社会福祉協議会ホームページを見たことがありますか。



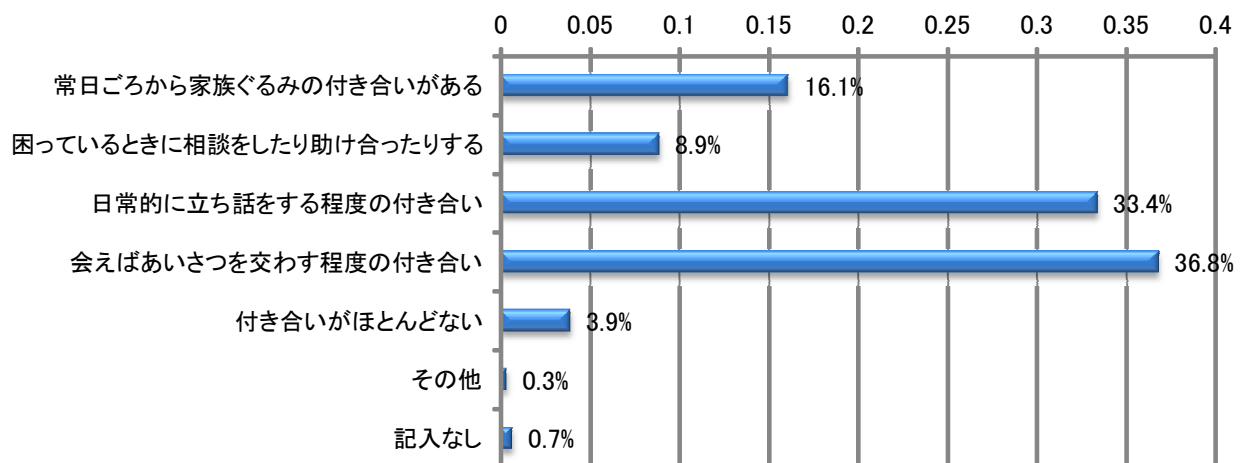
「見たことがある」人の年代別内訳



社協のホームページについて、「見たことがない」が87.0%であり、「見たことがある」の11.7%を大きく上回っている。「見たことがある」人の年代は「70代」37.1%、「60代」27.6%、「80代以上」18.1%の順になっている。

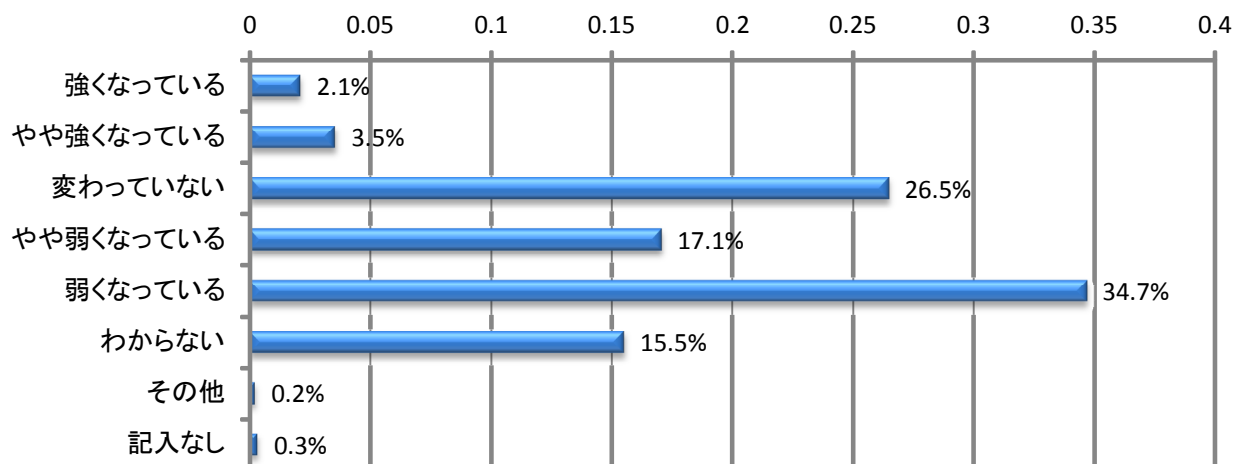
Ⅲ.「地域」との関わりについて

問9 ふだん近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。



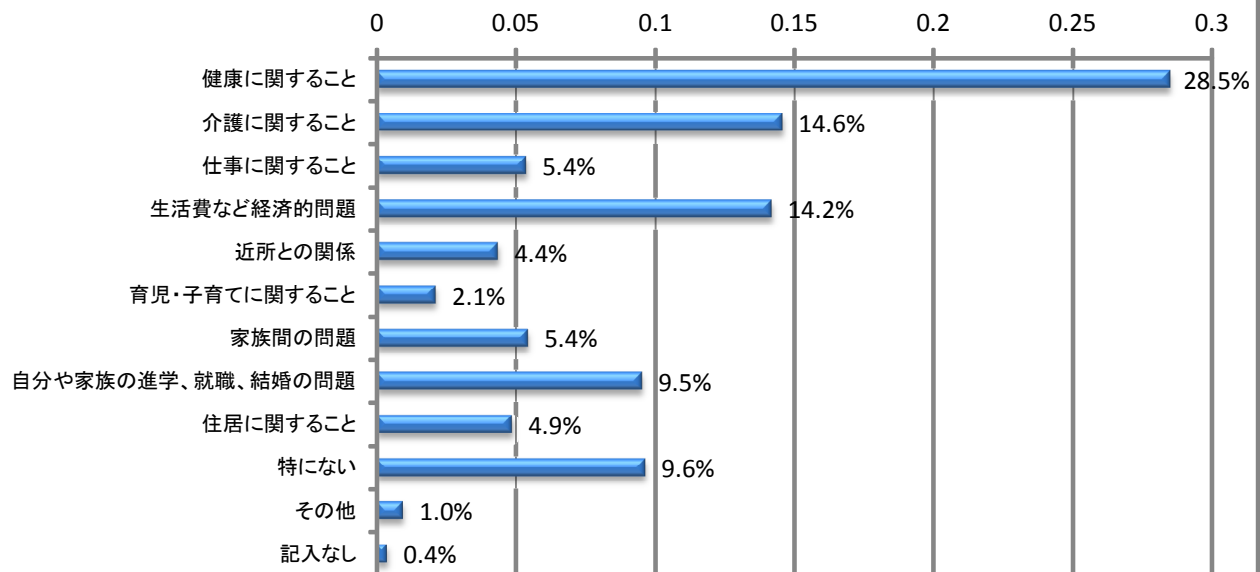
ふだん近所の人との付き合いについて、「会えばあいさつを交わす程度」が 36.8%と最も高く、次いで「日常的に立ち話をする程度」が 33.4%、「常日ごろから家族ぐるみの付き合いがある」は 16.1%となっている。

問10 今住んでいる地域のつながりが、以前と比べてどのようになっていると感じますか。



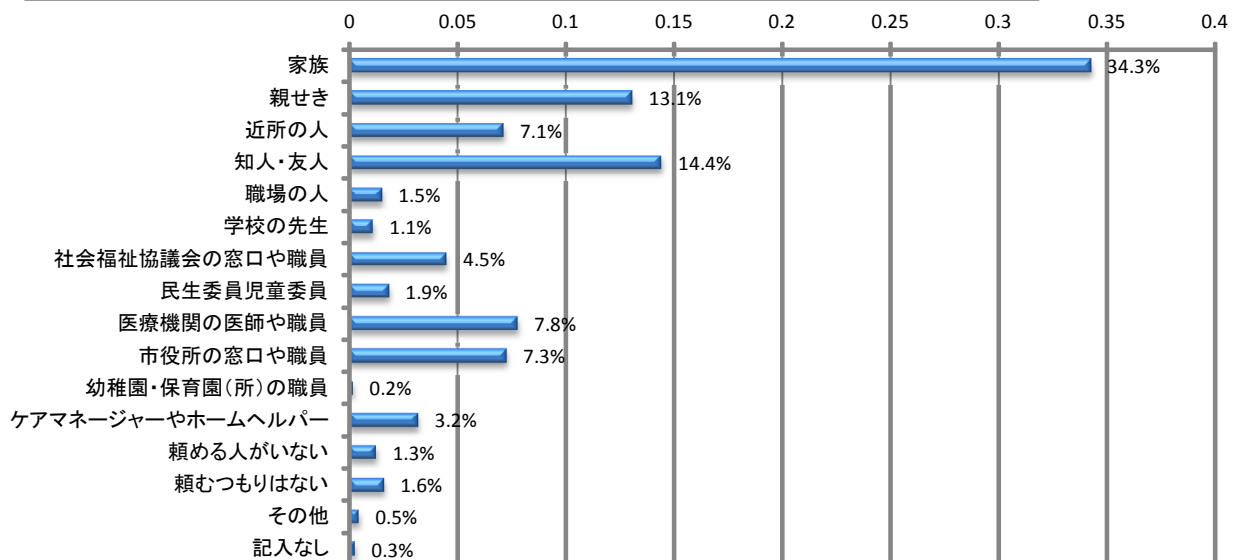
地域のつながりが以前と比べて、「弱くなっている」が 34.7%と最も高く、次いで「変わっていない」が 26.5%、「やや弱くなっている」は 17.1%、「わからない」が 15.5%と続く。

問11 毎日の暮らしの中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。(複数回答)



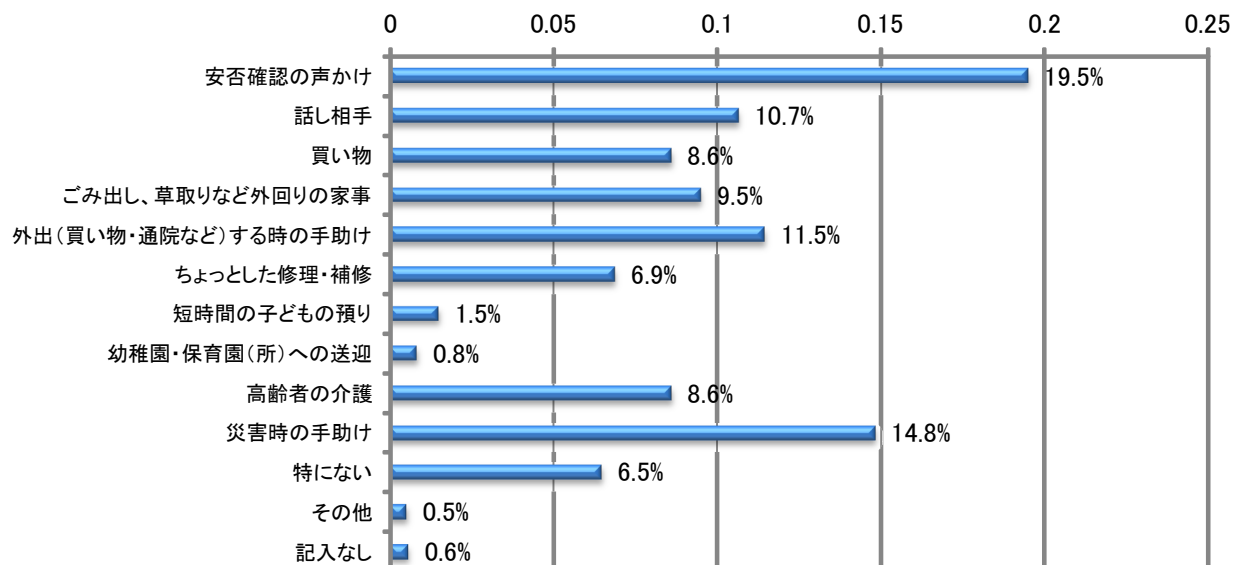
どのようなことに悩みや不安を感じているかについては、「健康に関すること」が28.5%と最も高く、次いで「介護に関すること」が14.6%、「生活費など経済的問題」14.2%などが続く。

問12 暮らしの中で相談や助けが必要なとき誰に頼みたいと思っていますか。(複数回答)



助けが必要なとき誰に頼みたいと思っているかについては、「家族」が34.3%と最も高く、次いで「知人・友人」が14.4%、「親せき」13.1%となっている。

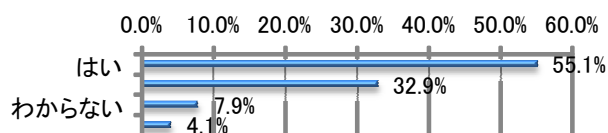
問13 自分やご家族が、高齢や病気、もしくは子育てなどで日常生活が不自由になったとき、地域にどのような手助けをしてほしいですか。(複数回答)



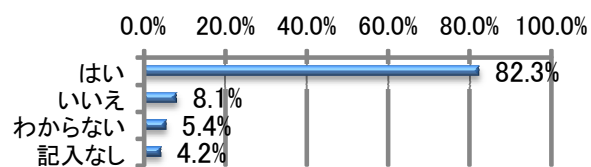
日常生活が不自由になったとき、地域にどのような手助けをしてほしいかについて、「安否確認の声かけ」が19.5%と最も高く、次いで「災害時の手助け」が14.8%、「外出する時の手助け」11.5%、「話し相手」10.7%などが続く。

問14 防災に対する日頃からの取組みや、災害などの緊急時の対応について

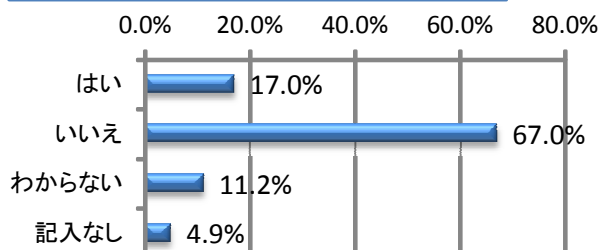
問14(ア) 災害などの緊急時の対応に備え、日ごろから何らかの準備をしていますか。



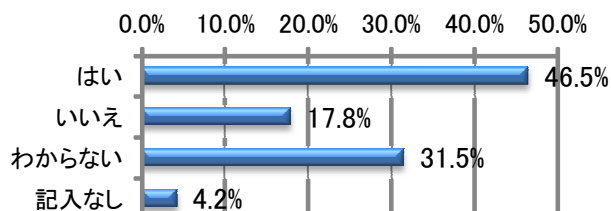
問14(イ) 自宅や職場、学校の最寄りの避難所を把握していますか。



問14(ウ) 災害などの緊急時に、避難所への誘導等の手助けが必要ですか。



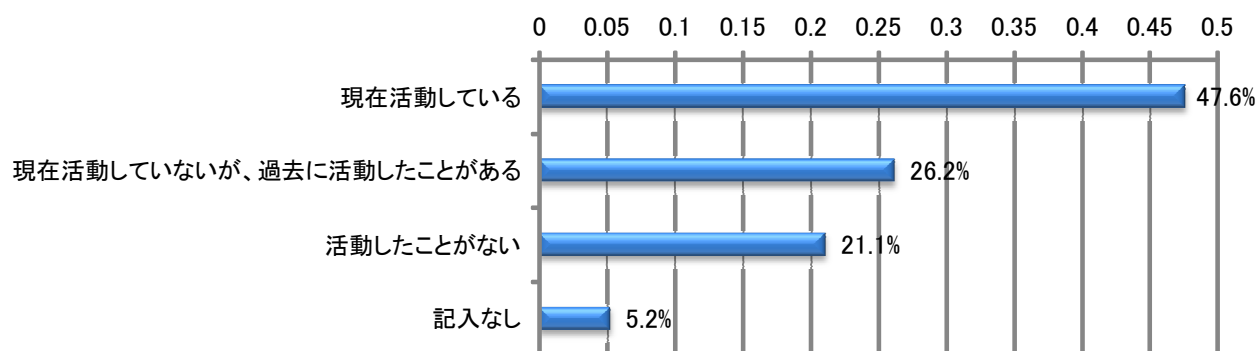
問14(エ) 災害などの緊急時に、高齢者世帯や障がい者等の避難等の手助けができますか。



災害などの緊急時の対応に備え、何らかの準備をしている人は半数以上の55.1%であり、自宅や職場、学校の最寄りの避難所を把握している人は82.3%になっている。災害時に誘導等の手助けが必要な人は17.0%となっており、災害時などに、高齢者世帯や障がい者等の避難の手助けをできる人は約半数の46.5%となっている。

Ⅳ. 地域活動について

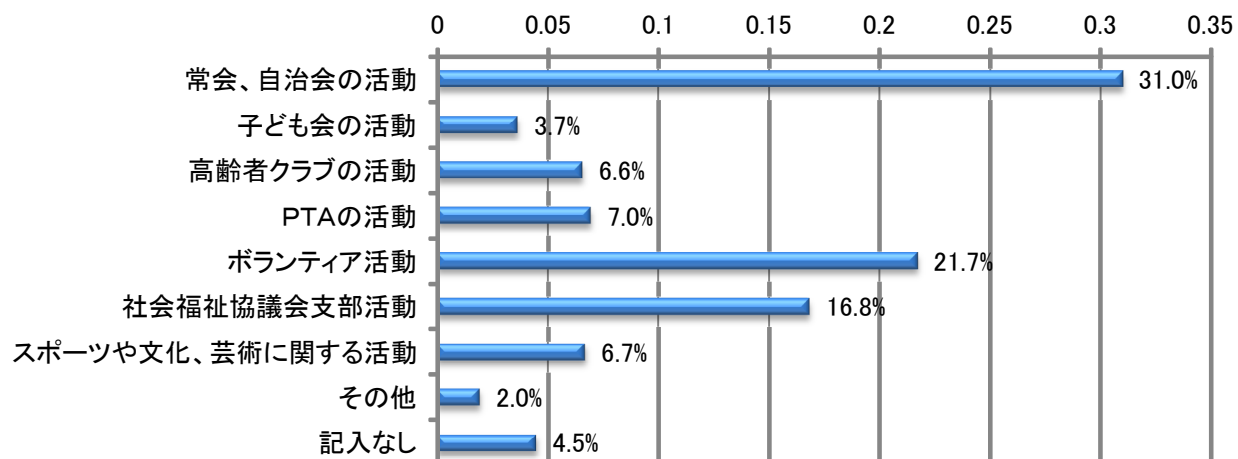
問15 現在、自治会や子ども会、PTAなどの地域活動をしていますか。



現在、地域活動をしているかについては、「現在活動している」が約半数の47.6%であり、「現在活動していないが、過去に活動したことがある」が26.2%、「活動したことがない」21.1%となっている。

【問15で「現在活動している」と答えた人について】

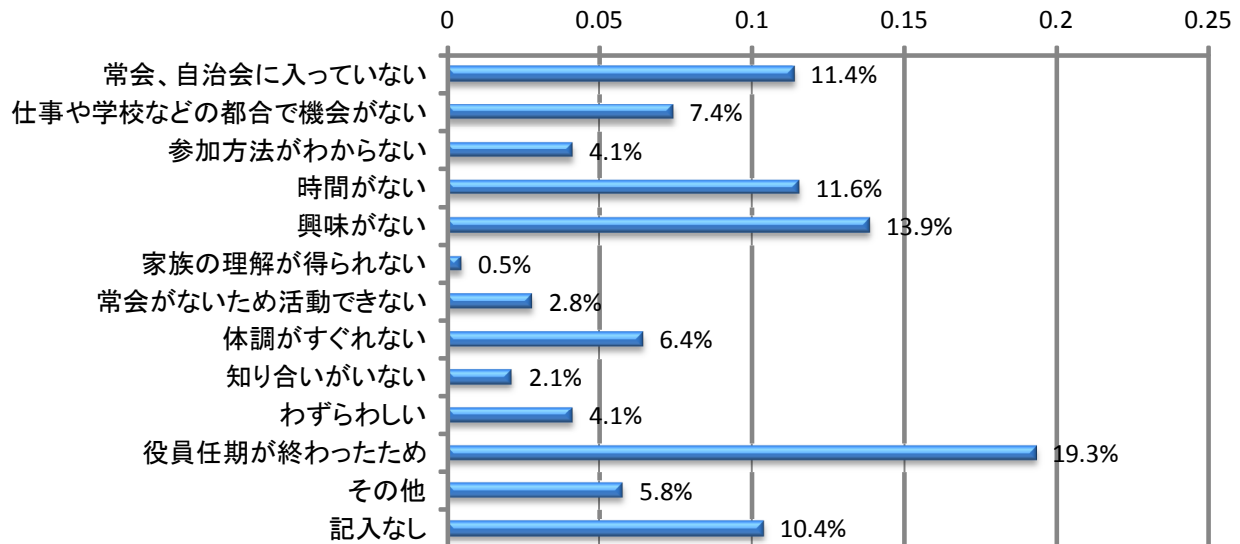
問16 どんな活動をしていますか。(複数回答)



地域活動についてどんな活動をしていますかについては、「常会、自治会の活動」が31.0%と最も高く、次いで「ボランティア活動」が21.7%、「社会福祉協議会支部活動」16.8%、「PTAの活動」7.0%などが続く。

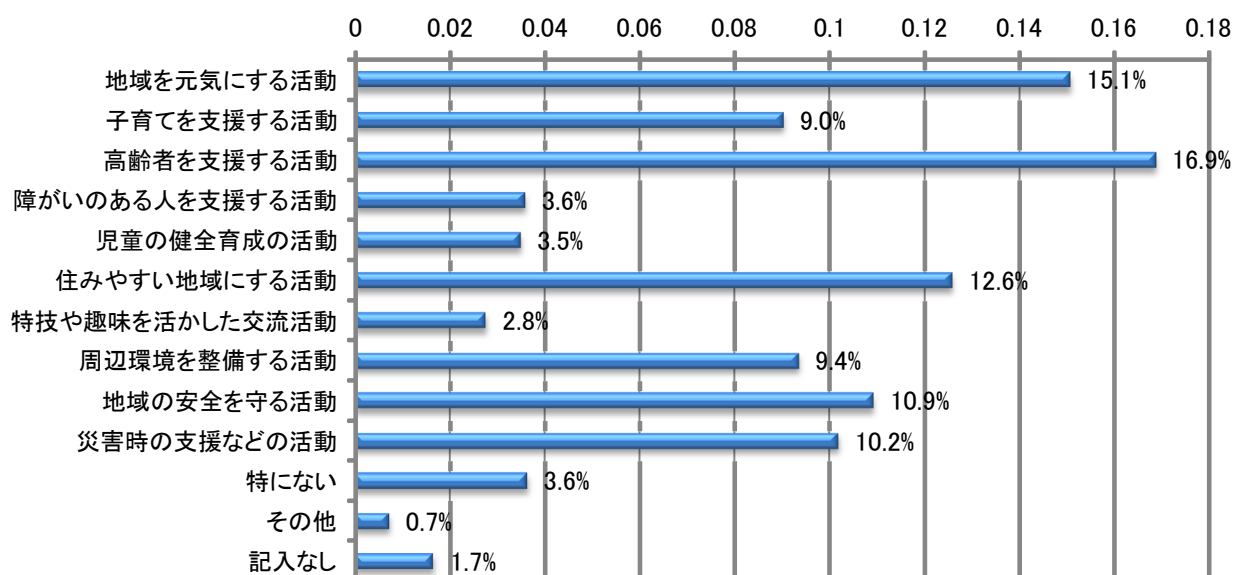
【問 15 で「現在活動していないが、過去に活動したことがある」「活動したことがない」と 答えた人について】

問17 現在活動していない理由は何ですか。(複数回答)



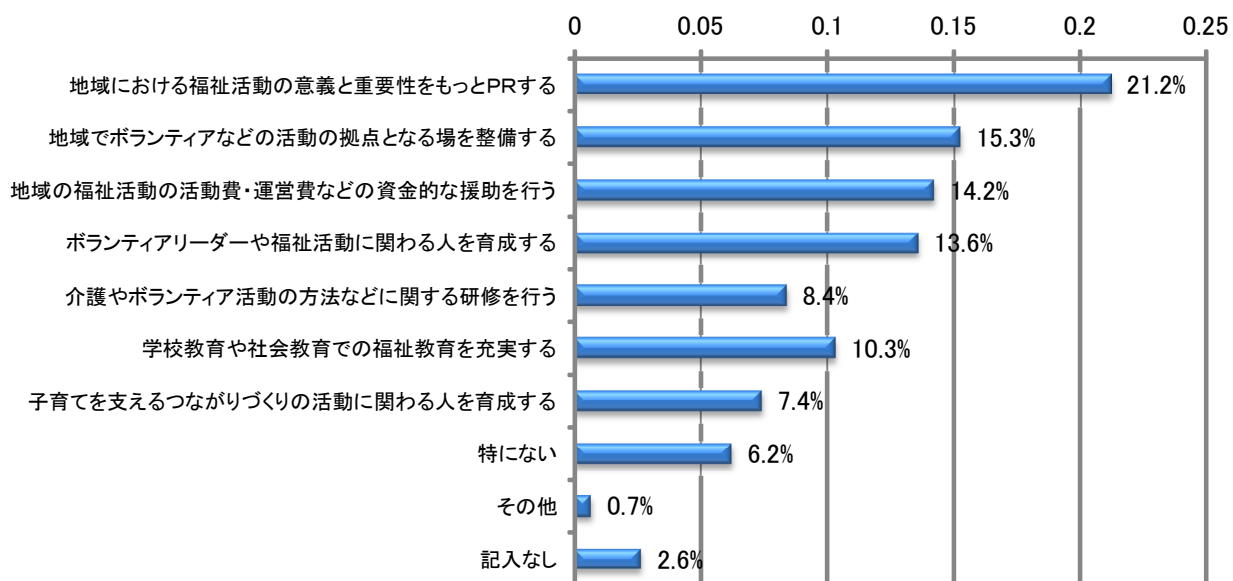
活動していない理由は、「役員任期が終わったため」が 19.3%と最も高く、次いで「興味がない」が 13.9%、「時間がない」11.6%、「常会、自治会に入っていない」11.4%などが続く。

問18 高萩市に今後どのような地域活動が必要だと思いますか。(複数回答)



今後、必要な地域活動については、「高齢者を支援する活動」が 16.9%と最も高く、次いで「地域を元気にする活動」が 15.1%、「住みやすい地域にする活動」12.6%、「地域の安全を守る活動」10.9%、「災害時の支援などの活動」10.2%の順になっている。

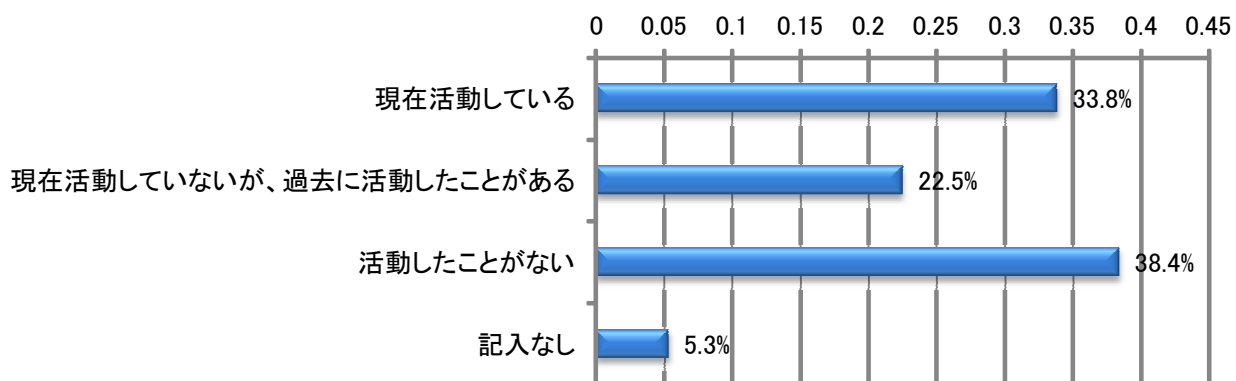
問19 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(複数回答)



地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、「福祉活動の意義と重要性をもっとPRする」が21.2%と最も高く、次いで「ボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する」が15.3%、「活動費・運営費などの資金的な援助を行う」14.2%、「ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人を育成する」13.6%などが続く。

V. ボランティア活動について

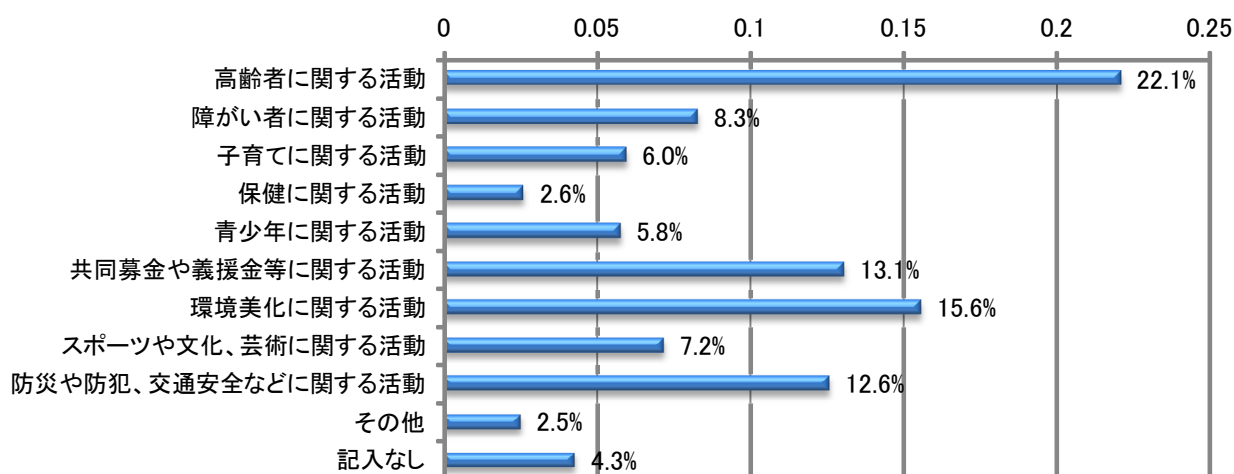
問20 今までボランティア活動をしたことがありますか。



ボランティア活動について、「現在活動している」は33.8%であり、「活動したことがない」(38.4%)の方が多い。

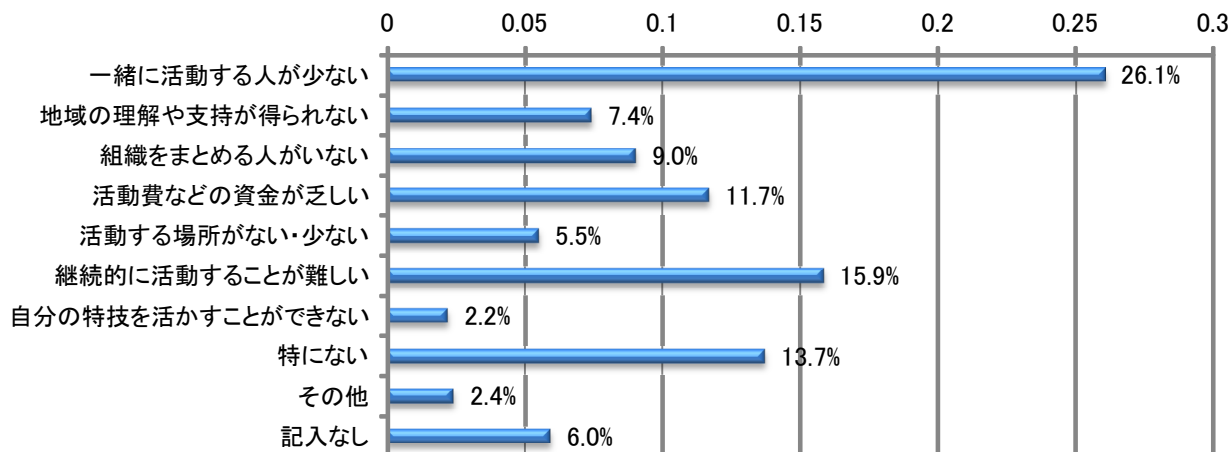
【問20で「現在活動している」「現在活動していないが、過去に活動したことがある」と答えた人について】

問21 どのような活動をしましたか。(複数回答)



どのような活動をしたかについては、「高齢者に関する活動」が22.1%と最も高く、次いで「環境美化に関する活動」が15.6%、「共同募金や義援金等に関する活動」13.1%、「防災や防犯、交通安全などに関する活動」12.6%などが続く。

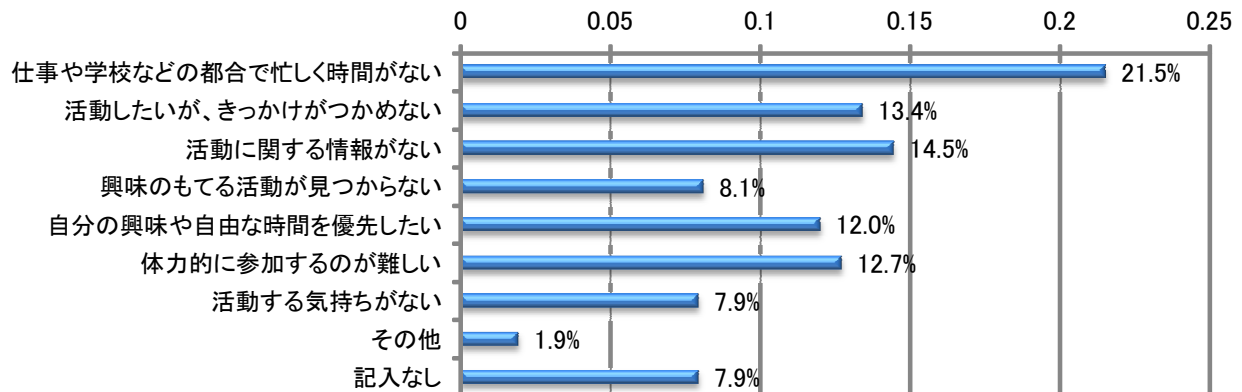
問22 活動の中で困ったこと、苦労したことはありますか。(複数回答)



活動の中で困ったこと、苦労したことについては、「一緒に活動する人が少ない」が26.1%と最も高く、次いで「継続的に活動することが難しい」が15.9%、「特にない」13.7%、「活動費などの資金が乏しい」11.7%となっている。

【問 20 で「現在活動したことがない」と答えた人について】

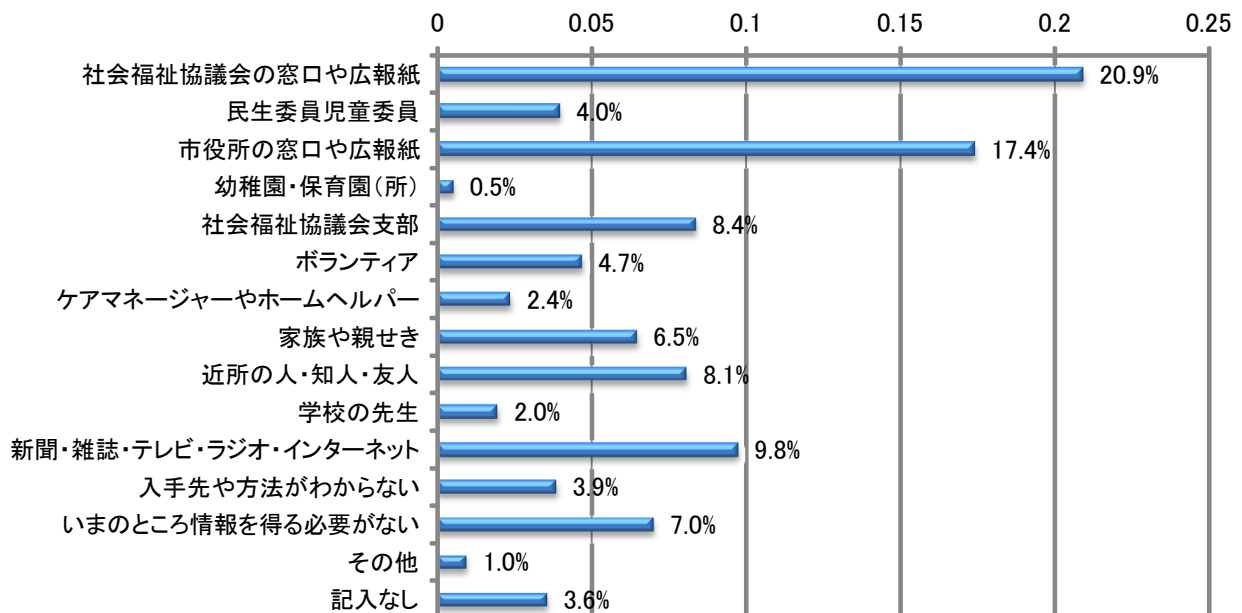
問23 活動したことがない、または活動できない理由は何ですか。(複数回答)



活動できない理由は、「仕事や学校などの都合で忙しく時間がない」が 21.5%と最も高く、次いで「活動に関する情報がない」が 14.5%、「活動したいがきっかけがつかめない」13.4%、「体力的に参加するのが難しい」12.7%の順になっている。

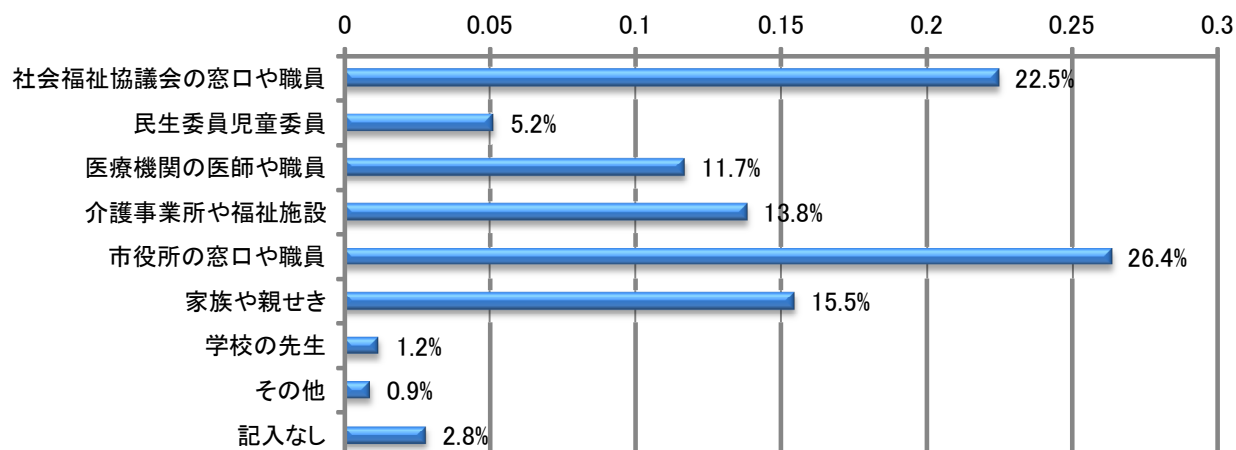
VI. 福祉サービスや福祉のあり方について

問24 「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。
(複数回答)



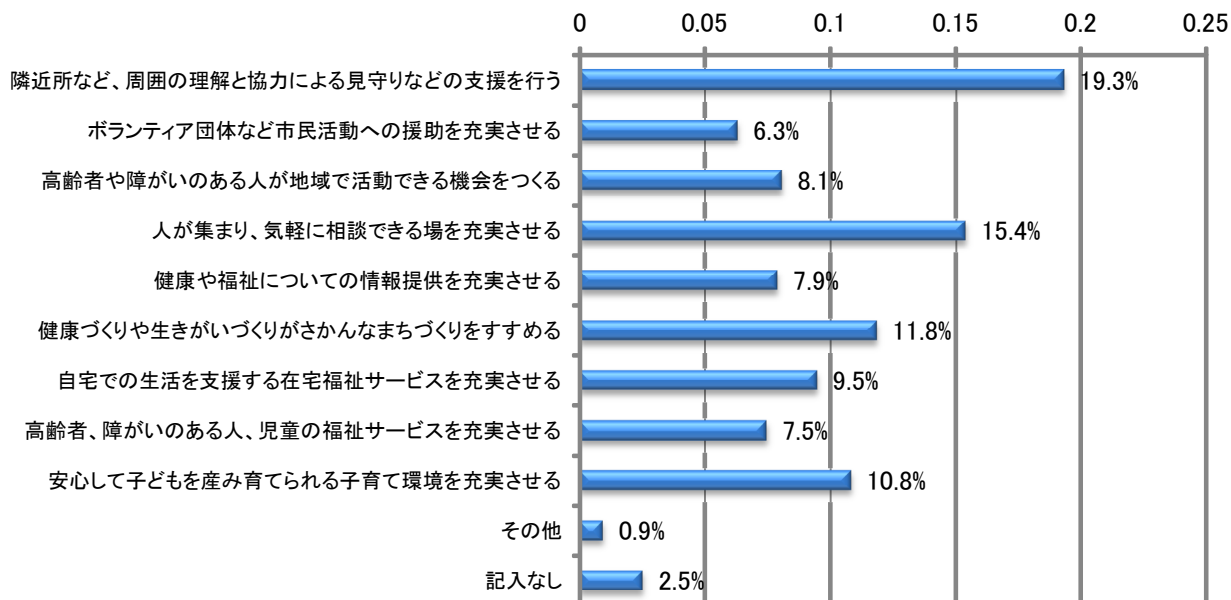
「福祉サービス」に関する情報の入手先は、「社会福祉協議会の窓口や広報紙」が 20.9%と最も高く、次いで「市役所の窓口や広報紙」が 17.4%、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・インターネット」9.8%、「社会福祉協議会支部」8.4%などが続く。

問25 自分や家族の誰かに福祉サービスが必要になったときに、どこに相談に行こうと思っていますか。(複数回答)



福祉サービスが必要になったときに、どこに相談に行こうと思っているかは、「市役所の窓口や職員」が26.4%と最も高く、次いで「社会福祉協議会の窓口や職員」が22.5%、「家族や親せき」15.5%、「介護事業所や福祉施設」13.8%の順になっている。

問26 地域で安心して暮らしていくために、どのような福祉のあり方が大切だと思いますか。(複数回答)



どのような福祉のあり方が大切だと思いますかについては、「隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う」が19.3%と最も高く、次いで「人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる」が15.4%、「健康づくりや生きがいづくりがさかんなまちづくりをすすめる」11.8%、「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」10.8%などが続く。